



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第254号
2016年2月8日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

日本共産党市議団は、2月3日（水）～2月5日（金）まで、岡山県の総社市、瀬戸内市、そして兵庫県の川西市と3自治体で4項目の視察を行いました。

障がい者の就労支援に自治体あげて

岡山県の総社市での「障がい者千人雇用」について、今週号で報告をします。

総社市では平成23年に、「平成27年度末までの5年間で障がい者の雇用を1000人にする」との施策を打ち出しました。何故1000人かというのは、当時の総社市では、18歳から65歳までの障がい者が約1200人であり、その8割を超える雇用をめざす積極的な目標をかかげました。

当時、市民は「リーマンショックの後で、普通の人でも職を無くしているのに、市は何をしているのか」また、「寝たきりの障がい者まで働けというのか」とこの施策に反発していたそうです。

しかし、担当の職員の方々は『障がいを持っていても社会参加したい』『働きたい』『仕事の探し方を教えてほしい』など障がい者の方々が、社会への参加と生きがいを求めていることに気づかされた」と話していました。

1000人の目標に対し、9割の方が就労

スタート当初は、180人の就労者そのうち4割が一般就労で、圧倒的に作業所で働く方が多くいました。

その後、職員の親身な相談やひとり一人に丁寧な対応とともに、受け入れてくれる企業などの協力を得るために、「障がい者千人雇用センター」ができました。市役所とハローワークとセンターとが3本の矢となって、千人雇用体制をつくり上げ、ひとり一人にあった多様な選択肢をみつけていく事ができたそうです。

職員がこれまでに訪問した企業は、500を超えています。平成27年12月現在では就労者数894人、そのうち一般就労者は521人。当初と逆転して一般就労者が6割になりました。

障がい者が生きがいと希望を持てる

職員の方々は相談、面接、就労だけでなく就労後の見守りや相談まであたっています。1人の職員の担当は100人を超えています。しかし、それでも職員の方々は笑顔で対応し「やりがいもあり、市民の方々が応援してくれてうれしい」「障がい者の方が普通にまちを歩いていてあたりまえのまちです」と言える。職員が自分の仕事に自信をもって働いていました。

担当職員は「人がいなければできません。必要な職員がいてこそ動けます」とも言っておりました。

しっかりと計画をたて、必要な人員をそろえてこそその結果ともいえます。この視察結果を八千代市にどうにかせるか、今後市議団で検討していきたいと思えます。

